



「ガゼールの最高速は3速5900回転でマーク。直進安定性、ステアリングの応答もいい。全開でも平和そのものだ。バル・ターボは3000回転から非常にコンスタントにブーストがかかる。最高速は5速で5500回転だが、パワー、足回りともセッティングは文句なし。安定した最高速がマークできるね」(望月)

ターボVS

ガゼール(AT)は**166.28km/h**
バル・プレリウド**173.91km/h**

ATといえども、ガゼール・ターボの心臓は最高速181.2km/hをたたき出すバル・ターボと同じだ。空力の良さからも好記録が期待されたが……。対するバル・プレリウドはストリート・チューンながらレビンの171.9km/hより速いのはさすが!



ガゼール・ターボはバルと同じZ18E・T型。最高出力135馬力/6000回転を発生。



プレリウドのV16ターボは120馬力/5500回転で使いやすい。

久保3QZ驚異の**257.60km/h**



日産L型でトップ・クラスの久保チューン3QZ。270~280馬力のカリカリ・マシンだ。

日産L型パワーの元祖、久保3QZはやはり速い。280馬力のメカ・チューンにZGノーズで武装。1周め257.14km/h、そして2周め257.60km/hをマーク! 雨宮RX7、13Bベリレコに僅差。時間切れ!



「L型がこんなにふけるなんて信じられないほどだ。音もいいし。最高速は5速7600回転だった。水温も90度ぐらいで心配ない。ただ、7300回転あたりでキャブの息つきが気になった。速いけれど、サスペンションが弱くバンクで全開できないのが難点だ」(高橋)